



みんな なかよく げんきに のびよう

三つの宝「うつくくまわりを えがおであいさつを きちんとくつならべ」

令和4年度第11号
熊本市立植木小学校
令和4年6月14日
文責：校長清田浩文

梅雨の季節、親子で読書を楽しみましょう！

熊本県が梅雨入りしました。朝から冷たい雨が降る日が続いています。外遊びができない季節ですが、外出する代わりに親子で読書を楽しんでいただきたいと思います。

子どもたちがやりたがるゲームや動画視聴は、情報量が多過ぎて脳を疲労させます。しかし、それらの時間を読書に充てると、情緒が安定したり、語彙が広がったり、想像力が豊かになったり、読解力や表現力が高まったりして、多くの効果が期待できます。

あるコラムに「親ができる『子どもを読書好きにする』方法」が載っていましたので、以下にご紹介します。

- ① 読み聞かせをする
- ② 親が本を読む姿を見せる
- ③ 子ども専用の本棚を作る
- ④ 子どもがよく見にする所に目立つように本を置く
- ⑤ アニメ・ドラマ・映画になった原作本を読書のきっかけにする
- ⑥ 「どんな本を選んでもいい」と伝える
- ⑦ 親が本をプレゼントする・紹介する
- ⑧ 「途中から読んでも、途中でやめてもいい」と伝える
- ⑨ 本を読んでいることを褒める
- ⑩ 子どもが話す本の話に耳を傾ける

ちなみに、私自身は、我が子が小学生だった頃、親子で一緒に植木図書館に行っていました。また、本屋にもよく連れて行っていました。（息子が3人いますが、どの子も年間100冊以上読んでいました。）校長になった今でも2週間に1回のペースで通い、本を借りています。たまに本校の子どもたちが家族の皆さんと一緒に図書館で過ごす姿を見かけると、嬉しくなります。梅雨の季節、本に親しみましょう！

学校教育目標

気づき・考え・行動する、自立と共生の力を備えた子どもの育成
～出会いと出番と対話のある「三方よし」の学校を目指して～